

平成 29 年 11 月 7 日

ベインキャピタル、株式会社アサツー ディ・ケイ株式に対する現行の買付け価格は既に十二分な評価であるとして維持することを表明
同時に買付け期限の手続き上の延長を発表

Bain Capital Private Equity（以下「ベインキャピタル」）は昨日、株式会社アサツー ディ・ケイ(9747:TSE)（以下「ADK」）の非上場化を目的とした普通株式の公開買付けについて、買付け期限を本来の平成 29 年 11 月 15 日より 11 月 21 日に延長することを、関東財務局に届け出ました。

この延長は、公開買付期間中に公開買付届出書に記載すべき重要な事項の変更がある場合において、訂正届出書を提出した場合には公開買付期間を訂正届出書の提出日から最低 10 営業日延長しなければならないとする金融商品取引法が定める手続き上の要件をふまえ届け出られました。訂正届出書の提出理由は三つ：1) ADK が提携協力契約の解約通知を受領したこと、2) ADK と株主の WPP の仲裁、及び 3) 平成 29 年 11 月 6 日に中国独禁法の承認が下りたこととなります。

ADK は平成 29 年 11 月 6 日（月）、ADK による提携協力契約の解消の法的妥当性を疑問視する株主の WPP より、仲裁の申し立てを行った旨の連絡を受領しました。WPP は即時に業務提携を終了させようとしつつも、契約終了に際して義務付けられている WPP が所有する全 ADK 株の売却について反対しています。

当社の公開買付けは、これらの法的手続きの結果に左右されるものではなく、別個のプロセスですが、当社としては ADK による提携協力契約の解消は妥当であると考えており、WPP との訴訟において、ADK の経営陣をサポートする用意があります。

ベインキャピタルのアジア共同代表の David Gross-Loh は以下の通り述べています。

「この延期は法律の要件を満たすためのものにすぎません。この延期により、ADK の株主の皆様が買付けについて検討いただくためのお時間が増えることとなりますが、公開買付届出書の今回の訂正は、当社による ADK 株式の買付けに実質的に影響がないこと、また、当社が提示する価格が ADK を十二分に評価するものであることを強調したいと思います。中国独禁法の承認が出たことは歓迎しています。仲裁手続きは公開買付けとは無関係であり、別のプロセスとして行われます。」

「広告業界はグローバルに大きく変化しており、伝統的なビジネスモデルは危機に直面しています。日本で第三位の広告代理店 ADK を含む日本の広告業界も例外ではありません。迅速な行動を取るとは競争力を保つためにこれまで以上に重要となっており、非上場化は ADK がこの変動する環境の中でポテンシャルを発揮するための唯一の現実的な選択肢です。」

「当社の買付けは ADK のビジネスの公平かつ十二分な評価を反映していると信じております。また、対抗買付者が現れていないことと、WPP が ADK との提携解消をする意向を表明したことから、別の公開買付が今後発生する可能性は低いと考えます。そのため、株主の皆様にはこのベインキャピタルによる魅力的な公開買付けへの応募を推奨いたします。」

ベインキャピタルの公開買付価格は普通株式1株あたり3,660円となり、株式は未調整ベースでEV/EBITDAの19倍の公正価値を示しており、公開買付けの発表前の取引水準に対して15-25%のプレミアムに相当しております。また税引き後かつ、関連取引コストを反映したADKが保有するWPP株の市場価値を差し引いた調整後のEV/EBITDAは、13倍になります。これは、ADKの開示によれば、公開買付けの発表前の取引水準に対して29-50%のプレミアムに相当いたします。これにより買付価格はADKの過去10年間の株価の最も高い水準となっており、上場している他の広告代理店のEV/EBITDAを大きく上回っております。なお、この取引の完了はADKの普通株式の最低20,785,200株(50.1%)が売却されることを条件としています。修正された公開買付けの予定及び全ての条件は関東財務局に提出した公開買付届出書の訂正届出書でご確認頂けます。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、経営のパートナーとして事業のバリューアップ支援に注力する世界最大級の投資会社であり、総額750億ドル以上に上る数種類のファンドを運用しております。ミット・ロムニーを中心としたメンバーによる1984年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で300社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ約400名の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。

メディアからのお問い合わせ先

Bain Capital Private Equity

土屋大輔 Daisuke Tsuchiya (London)
Direct: +44 20 7396 7409
Mobile: +44 77 0347 1014
Email: dtsuchiya@brunswickgroup.com

Annabel Arthur, Brunswick Group (Hong Kong)
Direct: +852 3512 5075
Mobile: +852 6110 6575
Email: aarthur@brunswickgroup.com

Ambre Tanty-Lamothe, Brunswick Group (London)
Direct: +44 (0) 20 7936 7404
Mobile: +44 (0) 7469 083510
Email: atanty@brunswickgroup.com